# MERION ちょボラだより



この事業は赤い羽根共同募金の 配分金を活用し、実施しました。

新見市社会福祉協議会では、学童期からのボラン ティア活動として、自分にもできる「ちょっとした ボランティア"ちょボラ"」を推進しています。この 取組は、思いやりの心やボランティア意識を育むこ とを目的として、毎年市内の小学生に取り組んでい ただいております。

発行者

今年度は、10月~12月の間に2週間の取組期 間を各校で設定していただき、市内 17 校508名 の児童が取り組みました。

#### みんなで取り組むちょボラを考えたよ!!



児童たちは主にこのような

### ちょボラに取り組みました!

- ・あいさつ
- ・地域活動への参加
- ・ベルマーク集め
- ・高齢者に席を譲った
- ・ゴミの分別やリサイクル
- ・スーパーでカートを片付けた
- ・公園の清掃や地域のゴミ拾い など

### ▷ 各学校の取組状況

学校名	取組学年	学校名	取組学年	学校名	取組学年
千屋小学校	1~6 年生	刑部小学校	4~6 年生	本郷小学校	4~6 年生
西方小学校	4~6 年生	上市小学校	4~6 年生	神代小学校	3~6 年生
塩城小学校	3~6 年生	新見南小学校	4~6 年生	新砥小学校	1~6 年生
草間台小学校	4~6 年生	井倉小学校	3~6 年生	高尾小学校	4~6 年生
神郷北小学校	3~6 年生	野馳小学校	4 年生	矢神小学校	3~6 年生
萬歳小学校	2~6 年生	思誠小学校	4 年生		

#### 取り組んだ児童の感想





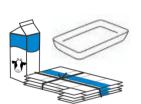


- ・私にもあいさつやキャップ集めなど、できることがあることがわかりました。ちょ ボラをすると、笑顔の人が増える気がしました。
- ・休日に5・6年生で公園のそうじをしました。地域の方が時々掃除をして下さっている ことを知っていたので、私もこれから気にかけてきれいに使ったり、気づいた時にはき れいにしたいと思いました。
- ・ちょっとしたボランティアをするだけで、みんなに"ありがとう"と言ってもらえてうれ しかったです。これからは、意識しなくてもボランティアができるようになりたいです。
- ・ちょボラをして、人のために何かすることは気持ちがいいということがわかりました。 何か人の役に立てることを探してみるのもとてもいい活動なので、これからも身の回り にあるちょボラを探して積極的に取り組みたいです。
- ・ちょボラは人や地域のためになるけど、「ありがとう」や「うれしい」と言ってもらえて 優しい気持ちになり、自分のためにもなると感じました。











## ご家族からのことば

- ・お友達ときちんと日時を決めてゴミ拾いを計画し、実行できました。自分 たちには何ができるか考えて行動する力がつき、子どもの成長を感じら れてうれしくなりました。
- ・「今日は何をしようかなぁ~」と自らバス停のそうじをしてみたり、ゴミ の分別をしてくれたり、とてもうれしい気持ちになりました。
- ・はじめは何をしたら良いのかわからないようだったので、「自分が気づい たことをしたらいいよ」と言うと、遊んでいるときでも道に落ちている ゴミを拾っては嬉しそうに見せてくれました。
- ・自分で考えたちょボラは取組めたように思います。"ちょっとしたボラン ティア"とはどんなことがあるのか、私自身も子どもと一緒に考えて、一 緒に取り組んでいけたらいいなと思います。優しさと思いやりをもって 続けて行ってほしいです。
- ・公園のゴミを拾ったり、地区のゴミを拾ったりすることで、近所の方とも コミュニケーションが取れていました。「ありがとう」の言葉を言っても らい、子ども自身がやってよかったと嬉しそうにしていたので、とても 良い経験になったと思います。
- ・週末には親子でゴミ拾いやお店で募金をするなど、家庭でもちょボラを 意識した生活が送れて良かったと思いました。他にもどんなことがちょ ボラにあたるのかを考えて、時には実践できるといいなと思います。

コロナ禍で外出の機会や地域活動が減り、地域の方 とふれあう機会が持ちにくい状況の中でちょボラに取 り組んでいただいたため、やりにくさを感じられるこ ともあったかもしれません。しかし、事前にしっかり と取組について考える場を持ち、"わたしだけのちょボ ラ"を決めて取り組もうとする前向きな姿も多く見ら れました。学校によっては、他学年と一緒に"取り組ん でみたいこと"について話し合ったり、社協職員による ちょボラのオンライン説明会を実施した学校もあり、 有意義な取組につながりました。友達と予定を合わせ てゴミ拾いをした、家族でちょボラについて話をして 一緒に取り組んだといった感想もあり、積極的にちょ ボラができたことが伝わってきました。

これからも、一人一人の取組がつながり、思いやり の輪が広がることを願って、新見市社協では、今後も ちょボラを推進していきたいと思います。

